

**そのメンバーに、そのリーダーに、そのチームに。
互いに協力し、支え合いながら、自力で力強く、
明るい未来を切り拓いていくチカラを！**



個の能力最大化と組織の活性化をはかる



マイドキュメンタリー・プログラム

おとなも、こどもも、自分のことを 自分が一番知らなかったりします。

第一印象は、しばしば私たちに嘘をつきます。どうも虫が好かないなあと思っていた人が、よく知ると意外にいい人だった。そんな経験は誰にでもありますよね。

では翻って、自分自身のことはどうでしょう？

「あなたはどんな人ですか？」と問われて、すらすら説明できるおとなが、いったいどれくらい、いるのでしょうか・・・。

もしかすると、「自分を表現する」ことがあまり得意ではない日本人にとって、「自分を理解する」というのは、とても難しいことなのかもしれません。人生経験が豊富なおとなたちですらそうなのですから、社会に出る準備をしているまっ最中のこどもたちが、日常生活の中で「自分を理解する」のは、至難の技です。

現代のこどもたちは、“自己肯定感”が低いと言われています。

「自分を理解する」ことは“自己肯定感”を高めるための極めて重要な要素。

心理学的な観点からも、自己理解と自己肯定感は密接に関連し、相互に影響を及ぼすことがわかっています。

自分を理解するという事は、すこやかな自己肯定感を養い、心の健康と幸福感の増進に役立ちます。

「マイドキュメンタリー」はワークシートに従って、写真をピックアップしたり、SNSのような短文を書き起こすことで、“自分を表現できるツール”です。

この自己表現ツールを活用することで、自己理解を深めながら、「自己肯定感」を高めていく“教育研修プログラム”が、「マイドキュメンタリー・プログラム」です。

一人でも多くのこどもたちに、そしておとなたちにも、このマイドキュメンタリー・プログラムを体験して、自己肯定感の向上による成果を得てほしい。

そんな願いから設立したのが、一般社団法人マイドキュメンタリー・プログラムJAPANです。

「マイドキュメンタリー」は、写真家であり、学校の特別講師も努めてきた佐藤太志朗が開発しました。こどもたちへの教育を肌で体験してきた佐藤だからこそ、発想・開発できた教育研修プログラムです。



< 職歴/役職 >

- 1 東京都立芸術高等学校、東京工芸大学芸術学部と芸術分野の専門課程を卒業
- 2 ミュージシャン、写真家として、表現及びクリエイティブの分野での実務経験
- 3 東京都立総合芸術高等学校の特別専門講師（2010年 開校前の開設準備期より参画）
- 4 青年会議所にて10年以上に渡り青少年育成事業や地域づくり事業に参画（2018年は理事長）
- 5 「教育評価の基礎講座」（京都大学）を2021年3月に修了
- 6 「21世紀のリーダーシップ開発」（早稲田大学）を2021年9月に修了
- 7 アントレプレナーシップ教育の講師
- 8 一般社団法人マイドキュメンタリーJAPAN 代表理事
- 9 東京都立小台橋高等学校（チャレンジスクール）特別専門講師



※教育プログラムの非営利団体
一般社団法人 マイドキュメンタリー
JAPAN 代表理事

※カメラマンの会社
株式会社 道道楽者 代表取締役

佐藤 太志朗
Sato Taishiro

私たちには、日本のこどもたちの生きる力を養うという使命があります。
そして、その使命を果たすために、叶えたい3つの夢があります。

1

日本の全てのこどもたちが人生で一度はプログラムを体験できる機会を創出する

しなやかな自分軸を形成し、他者の価値観を受け止められ、今日の一步を意思決定できる。
そんなこどもたちを一人でも多く育てるために、価値ある教育研修プログラムを日本中のこどもたちが経験できる機会を創出し、
個々の能力や夢を追求し、社会に羽ばたけるようにサポートしていきます。

2

国（文科省、厚労省、経産省）に政策提言できる団体になる

さらに、私たちは国の教育政策に関しても真剣に取り組んでいきます。こどもたちの育成・教育の観点のみならず、
メンタルヘルスの観点、そして、国内企業の生産性向上や働き方改革の観点からもアプローチと研究を重ね
関係省庁に政策提言を行い、日本の教育改革に寄与していきたいと考えています。

3

世界の国々で求められる教育研修プログラムへと発展させる

少子高齢化、失われた30年の経済成長、平均所得の減少、幸福度の低さ。これらの課題が立ちはだかる日本のこどもたちに、
未来を力強く拓いていく手助けをし、その成果を世界と共有することを目指します。私たちのプログラムは、
国内外で注目され、世界の国々で活用される価値があると信じています。

これからも一層の発展を目指し、3つの夢を実現することで、こどもたちと日本の未来のために
尽力してまいります。みなさまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

こどもたち一人ひとりに、 自分自身で、豊かな未来を 切り拓いていくチカラを。

どんな困難に直面しても負けずに
豊かな未来を切り拓いていくチカラを養う。
そのカギを握っているのが“自己肯定感”です。
そして、この“自己肯定感”の向上に着目して開発した
教育・研修プログラムこそが、当社団が普及啓蒙する
「マイドキュメンタリー・プログラム」です。
当社団はこの「マイドキュメンタリー・プログラム」の
開発・改良を行いながら、「マイドキュメンタリー」による
授業や研修を担える講師人材も育成していきます。
そして、「マイドキュメンタリー・プログラム」を
学校の授業や企業研修などによる社会人の学び直しを通じて、
こどもたちはもちろん、多くの社会人の自尊心と
自己効力感を高めることで、自ら人生を切り拓き、
豊かに生きていく力を養っていきたいと考えています。
それにより心が通い合い、学び高め合い、互いに支え合う
豊かな人間関係の構築を涵養することで、
社会の健全な発展に寄与していきます。
こどもたちをはじめ、多くの人々の笑顔を増やすために。



<事業の概要>

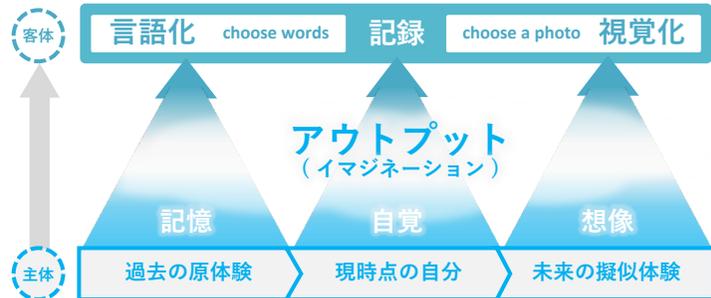
- (1) 学校教育プログラム版「マイドキュメンタリー」の企画、開発および提供、販売
- (2) 企業研修プログラム版「マイドキュメンタリー」の企画、開発および販売
- (3) 「マイドキュメンタリー」の資格認定に関する事業および資格認定証の発行、「マイドキュメンタリー」による授業や研修を行う講師人材の育成
- (4) 「マイドキュメンタリー」の啓発・広報・出版を行う事業
- (5) その他、前各号に掲げる事業に付帯または関連する事業およびこの法人の目的を達成するために必要な事業

<設立時理事・監事>

- 代表理事 佐藤 太志朗（株式会社道々楽者 代表取締役）
- 理事 武藤 秀博（株式会社STスマイル 代表取締役）
- 理事 太田 辰也（合同会社プレゼンワークス 代表社員）
- 監事 佐藤 成雄（佐藤成雄税理士事務所 所長）

自分を表現する“マインドキュメンタリー”を使って、自己肯定感を高めていく教育研修プログラム。

それが「マインドキュメンタリー・プログラム」です。過去の原体験（記憶）や未来の擬似体験（想像）を写真と文章によってワークシートに表現（記録）し、発表、傾聴、他者のフィードバックを行うことで、学習指導要領に記されている「非認知能力」の向上をはかります。



曖昧で抽象的な記憶と想像を、写真とテキストより、具体的な自己イメージをつくりあげます。

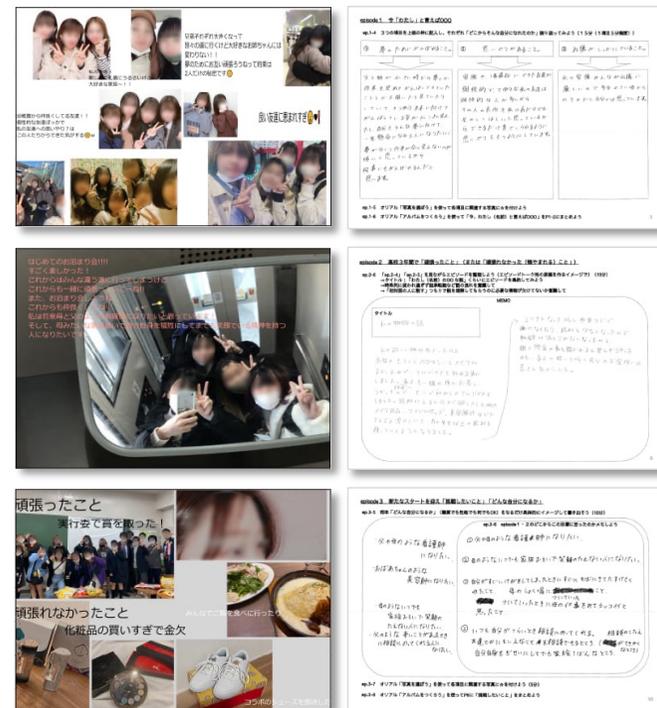
写真は、自分の思い出の写真を選んでよし。またインターネット上にある画像やイラストなどから、自分の体験や想像に最も近いイメージを選んで表現しても可。イメージは選んだその瞬間から、その人にとって意味のあるキービジュアルになります。頭の中で考える以上に、感覚的に多くの情報を捉えることができるキービジュアルは、より客観性をもって自己理解を深めていくことができます。

仲間からの承認や気づきで、さらに自己理解を深めながら、「自己肯定感」を高めていきます。

過去を振り返る個人ワークから始め、過去の原体験から“現時点の自分”につながるエピソードを選び出し、グループワークで意見交換しながら、より深く自分と向き合っていきます。「視覚化」と「言語化」によりエピソードをワークシートにまとめ、自分の過去～現在（現時点）～未来について、他者に伝わるようにプレゼンテーションを行い、仲間からのフィードバック（称賛や承認）を受けることで気づきを促し、自己受容をはかります。

写真で視覚的に自身を振り返ることで、客観的に自分と向き合えるプログラムになっています。

頭の中にある抽象的で曖昧な記憶や想像を具体的に視覚化・言語化しながら、ワークシートに整理し、まとめていく。世界に1つだけの「マインドキュメンタリー」を作成することで、主体化されていた記憶や想像を客体化し、客観的に自己理解を深めることで、自己肯定感の向上をはかっていきます。



学校の授業はもちろん、企業などの研修にも活用いただけます。

学校の指導要領に対応して、キャリア教育や自己肯定感、コミュニケーション学習、自己の振り返りの授業に利用できます。総合の時間や特別活動のアイデアに困っている先生、ICT環境を導入したいけれど何をやらなければならないのか悩んでいる先生にこそ活用いただきたい。進路相談の前に生徒が今の自分自身を知るために活用いただくということも考えられます。現在は、組織の活性化やチームワークの向上、あるいは従業員の成長支援のためのリーダー研修や新入社員研修など、組織の研修にも活用いただけるプログラムもご用意しています。

企業研修

マイドキュメンタリー
企業研修用プログラム
の企業・団体への提供

研修に対するマイドキュメンタリーの基本的な考え方

企業研修を実施するのは、参加者に現場の課題を解決してもらおう、もしくは理想とする組織像を実現できる人材になってもらうためです。研修で大切なことは、参加者が研修で得た学びを実際の業務に活かすこと。「行動変容」を起こさせることこそが、研修にとって何よりも大切と私たちは考えています。

「自己肯定感」に着目して開発されたマイドキュメンタリー・プログラムは、個人の行動変容に働きかけるプログラムです。自ら進んで行動し、自ら成長する自立した個人を育成するとともに、個人と個人、個人と組織の関係性を深め、結束した組織づくりを実現します。

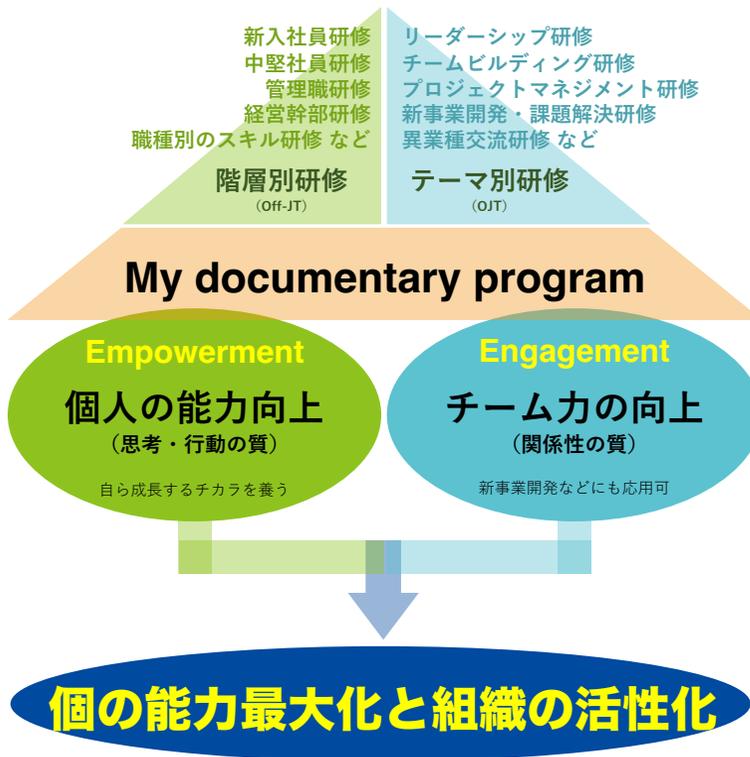


これまでは必要な人材を確保できていたため、従業員同士で能力を補い合い、支え合い、助け合う余裕がありました。ですが、人材の採用・定着化に苦慮している企業・団体は急増しており、いまや少数精鋭にせざるを得ない時代に入っています。従業員一人ひとりが担う役割や業務量は必然的に増やさざるを得ないにも関わらず、働き方改革によって従業員の働く時間は強制的に制限され、個人の生産性を否が応でも向上しなければならぬ状況に…。いま必要な研修は、個の力を最大化して、組織の活性化につなげていくプログラムです。マイドキュメンタリー・プログラムならそれが可能です。

組織内のコミュニケーションがうまくとれていない。管理職がリーダーシップを発揮できていない。プロジェクトが思うように進まないなど…。組織のさまざまな課題を解決するために、マイドキュメンタリーによる研修の導入をご検討ください。マイドキュメンタリー・プログラムは、こどもたちの「自己肯定感」を向上するために発案されましたが、「自己肯定感」はこどもたちだけではなく、社会人の自発的な業務遂行や従業員一人ひとりの生産性向上、ひいては組織の結束力や組織活性化にも大きく影響を及ぼします。人材開発はもちろん、組織開発にも威力を発揮する研修プログラム。それがマイドキュメンタリー・プログラムです。

マイドキュメンタリーによる企業・団体研修の特長

企業研修は一般的に「階層別研修」と「テーマ別（選抜）研修」の大きく2つに分類されますが、マイドキュメンタリーはそのどちらにも分類されません。下図のように、あらゆる研修のベースとなるプログラムで、企業や団体のご要望に応じて、新人研修用、あるいはプロジェクトマネジメント研修などに応用できるプログラムとなっています。



研修概要

< 基本構成 >

- 研修の目的・課題は個別に対応
- 認定プログラムマネージャーによるプログラムのカスタマイズ、監修
- 研修参加人数：40名（最少人数）
- 研修形式：体験型ワークショップ形式
- 研修時間：全8時間（2日間に分けて実施）
- 認定ファシリテーター：1名
- オリジナルワークシート：40部

研修参加者一人当たり（税別）

研修費（目安） **16,500 円**

* 遠方の場合の宿泊・交通費、会場を当社団で用意した場合の会場費は含まれていません。

上記費用は目安です。研修の目的や課題、参加人数、その他のご要望などにより研修費用は変わります。

< 会員特典 >

賛助会員（プラクティス会員）の法人の方は、マイドキュメンタリーを活用した研修を会員特別料金でご利用いただけます。また、社員研修に関する無料相談にも対応いたします。そのほか、さまざまな特典をご用意していますので、ご入会されてからの研修導入をおすすめいたします。



Step1

お問い合わせ ご相談

(入会後がおすすめ)

■何から始めたらいいのかわからない、というお客様もぜひお気軽にご相談ください。

■お問い合わせ・ご相談は、当社パートナーの代理店でも受け付けています。

*研修プログラムのご利用は、賛助会員（プラクティス会員）として入会いただくのがおすすめです。お気軽にお問い合わせください。

小規模事業者のみなさま向けの集合研修も企画中です

マイドキュメンタリーを活用した研修プログラムはすべてセミナー形式です。単独で、研修参加者が40名に満たない場合は、研修費用が割高になってしまいますので、複数の企業が共同で開催する「集合研修」もご検討ください。当社で集合研修を企画する予定です。



Step2

お打合わせ 聴き取り

(ニーズの把握)

■認定プログラムマネージャーが、お客さま組織の現状と人材育成課題、組織開発課題、そしてご要望等を細かくヒアリングさせていただき、お客さまの業務内容や実態への理解を深め、問題・課題を明確化します。

■お客さまが抱える人材育成課題、組織開発課題によっては、複数回にわたってヒアリングを行ったり、モニタリング（覆面調査）を行うなど、ご提案までにお時間をいただく場合がございます。



Step3

ご提案 お見積

(講師選定/プログラム設計)

■複数の認定ファシリテーター（講師）候補の中から、お客さまの目的、人材開発課題、組織開発課題、その他のご要望に合わせ、もっとも適した認定ファシリテーター（講師）を選定いたします。

■認定プログラムマネージャーがヒアリングさせていただいた内容に基づき、研修のプロセスを設計し、カスタマイズしたマイドキュメンタリープログラムをご提案いたします。

■お打ち合わせの内容、ご提案内容をお見直しいただきます。



Step4

すり合わせ ご契約

(プログラム/講師/日程の確定)

■研修プログラム、認定ファシリテーター（講師）候補をご確認・ご検討いただき、すり合わせ、調整を行います。

■受講者が取り組みやすい回数、時間、場所のご提案もいたします。

■研修実施日、研修会場、研修プログラムの内容などが確定しましたら、契約書を取り交わさせていただきます。



Step5

研修準備

■研修当日の段取りなど、電話やZoomにより、お打ち合わせをさせていただきます。

■ご提案内容をもとに研修テキストやワークシートをご用意いたします。内容をご確認いただき、お客さまのご確認完了後に、研修受講者のみなさまへ配布を願います。



Step6

研修実施

■研修開始前に、最終のお打ち合わせをいたします。

■マイドキュメンタリー・プログラムは、体験型のワークショップ研修です。

■研修当日の受講者の様子などを踏まえ、受講状況のフィードバックをいたします。

■必要に応じてアンケートなどを作成し、実施いたします。
■ご要望により、研修後のフォロー（面談など）も行います。

認定プログラムマネージャー対応範囲

研修の設計とプログラムのカスタマイズ

十分な経験を積み、認定試験に合格した認定プログラムマネージャーが研修のデザイン（設計）、監修を担当します。

研修全体のプロセスデザイン
どんなステップで個人ワークやグループワークを構成すれば、課題解決につながる研修になるかを設計します。

研修当日のプログラムデザイン
どのようなコンテンツを採用してプログラムをカスタマイズすれば、より効果的な研修となるかを設計します。

認定ファシリテーター対応範囲

研修当日の進行、ファシリテーション

十分な経験を積み、認定試験に合格した認定ファシリテーターが研修当日のワークショップの進行役を担当します。

研修当日のファシリテーション
どのようにその場を進め、どのような関わりをつくっていくかを検討し、より効果的なファシリテーションを行います。



一般社団法人 マイドキュメンタリーJAPAN

〒167-0021 東京都杉並区井草三丁目30番3号

03 - 5244 - 5084

info@mydocu.jp

<https://.mydocu.jp>